

令和2年度 地域課題検討状況

| 通し 番号 | 提案 時期 | 提案部会 | 課題 | 6月 運営委員会検討内容 | 令和3年度の取り扱い |
|----------|------------|-----------------------|--|---|---|
| R1-1 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1901) | 障害福祉の役割を明確にした関係機関（教育 司法 就労 児童）との連携 | <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害・発達障害の疑いのある方で、支援できる社会資源等見つけられないケースはある。 ・個別の部分の話を積み重ねて整理して、ある程度の実態の分類をしていくのがいいのでは。基幹相談支援センターは調査も大事な役割。 ・実態を整理して、介護保険分野や保健センターと擦り合わせられるといい。社会福祉法の改正で、分野を超えて地域全体で支えていく体制づくりという構想が出ている。 | 相談支援体制の検討の中で、合わせて検討していく。 |
| R1-2 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1902) | 障害福祉サービスにつながりにくいケースの相談支援 をどのように進めていったらよいか | | |
| R1-3 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1906) | 発達障害の方で就労（障害福祉サービス）につながら ない方の支援をどのようにしていけばよいか | | |
| R1-4 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1903) | 障害福祉サービスでは受け入れができないケースをど のように支援していけばよいか | | |
| R1-5 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1904) | 長期入院の方、長期入所の方の地域移行、地域定着を どのように進めていけばよいか | <ul style="list-style-type: none"> ・市として方向性を決めて協議会で共有して、皆が進める方向を示してほしい。長期入所・長期入院の課題は一病院・一事業所で進められる話ではない。地域移行・地域生活を進めるための協議会を立ち上げる必要はあると思う。色んな分野が関る中で進めていったほうがいい。医療と地域体制を考えられる場合は大事。 | 退院支援・地域移行の支援について、第2次長野市障害者基本計画の中に盛り込んでいる。全市として対応していく。 |
| R1-6 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1905) | 児童養護施設で受け入れができない障害児の受け皿を どのように考えていくか 家庭で暮らすことができない障害児を抱える家族への 支援をどのようにしていくか | <ul style="list-style-type: none"> ・養護性がある児童が児童養護施設で対応が難しく、長期で短期入所を利用しているケースがある。 ・児童養護施設に行動に課題のある子を受け入れる専門的な配置が十分ではない。短期入所が一時的であればいいが、短期入所では養護できる機能はない。 ・児童養護施設のような大きな場で過ごすことで、生きづらくなってしまいう子もいる。 ・「本来の形」かどうかは、誰が判断するのか。 ・養護に課題のある障害児をどうするか、児相と話合いの場を持てればどうか。 | 障害福祉課と児童相談所で話し合う機会を持ちたいと、市としても考えている。市から働きかけていく。 |
| R1-7 | 令和2年 2月 | ケアマネ 連絡会 (1907) | 地域での暮らしの場として、多様な暮らし方の社会資 源が不足してるため、ニーズにあった暮らしの場が無い | <p>（令和2年2月 検討）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での生活の支援について、どのような支援や生活の方法があるのか、具体的な地域での生活について、ガイドブックを作成してみてもどうか。 ・グループホームの経過や役割の確認、求められているニーズの整理をしてみてもどうか。 | 地域でいこう委員会が、地域生活をする上で、どのような支援や生活の場があるか整理し、目で見て分かるツール等の作成に取り組んでいる。引き続きお願いしたい。 |